



## ALSO プロバイダーコース

### ～金沢大学～

Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースである。またプライマリケア医だけでなく産婦人科の研修医を対象とした訓練でもある。1991年にACLSとATLSに基づいて、ウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案した。1993年にコース権利はAmerican Academy of Family Physicians (AAFP－米国家家庭医学会)によって認可され、現在全米では多くの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられている。また米国の家庭医レジデンシープログラムの内、78%がALSOをプログラムに導入している。さらにALSOコースは世界的に普及活動が行われており、2009年現在までに、50ヵ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上がALSOコースを完了した。

コースは、レクチャー、症例検討、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップである。筆記試験とマネキンによる実技試験（メガデリバリー）がコースに含まれている。ALSOはLDRにおける産科の救急的対処を強調しているが、その他に出産前のリスク評価、妊娠初期の性器出血、患者－医師関係、出産危機における両親のサポート、そして医療過誤リスクの減少といったテーマも含まれている。プロバイダーコースは二日間。重要レクチャーは妊娠初期の合併症、難産、妊娠の内科的合併症、妊娠後期の性器出血、分娩後大出血、早産、前期破水、妊婦の蘇生法、そしてマタニティケアにおける安全性の9つ。少人数グループによる重要ワークショップは肩甲難産、胎位・胎向異常、鉗子と吸引、分娩中の胎児監視、重要な症例の5つ。オプション・ワークショップ：会陰縫合、帝王切開、超音波検査、出産危機における両親への対処、そして新生児蘇生の5つ。プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合は、参加者は5年間有効の認証を受けることができる。プロバイダーコースの教官になることを希望する場合、一日間のインストラクターコースを受講しなければならない。

日本では2008年11月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、約100名がALSOコースを修了した。参加者は産婦人科医、プライマリケア医、研修医、救急医、助産師、そして医学部生などであり、現在あるいは近未来の日本の周産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加し

ている。産科救急医療は、産婦人科医だけではすでに成り立たない状況になりつつあることは周知の事実である。日本全国のすべての地域でできるかぎり同じレベルの産科医療を維持するには、産科医療に関わりたいという志を持った人たちをトレーニングする場を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要がある。まさにその足がかりとなるトレーニングコースが ALSO であり、今後日本で普及していくことを願ってやまない。

ALSO-Japan

セミナー：ALSO プロバイダーコース

主催：NPO 法人周生期医療支援機構（OPPIC）

共催：金沢大学 周生期医療専門医養成学講座

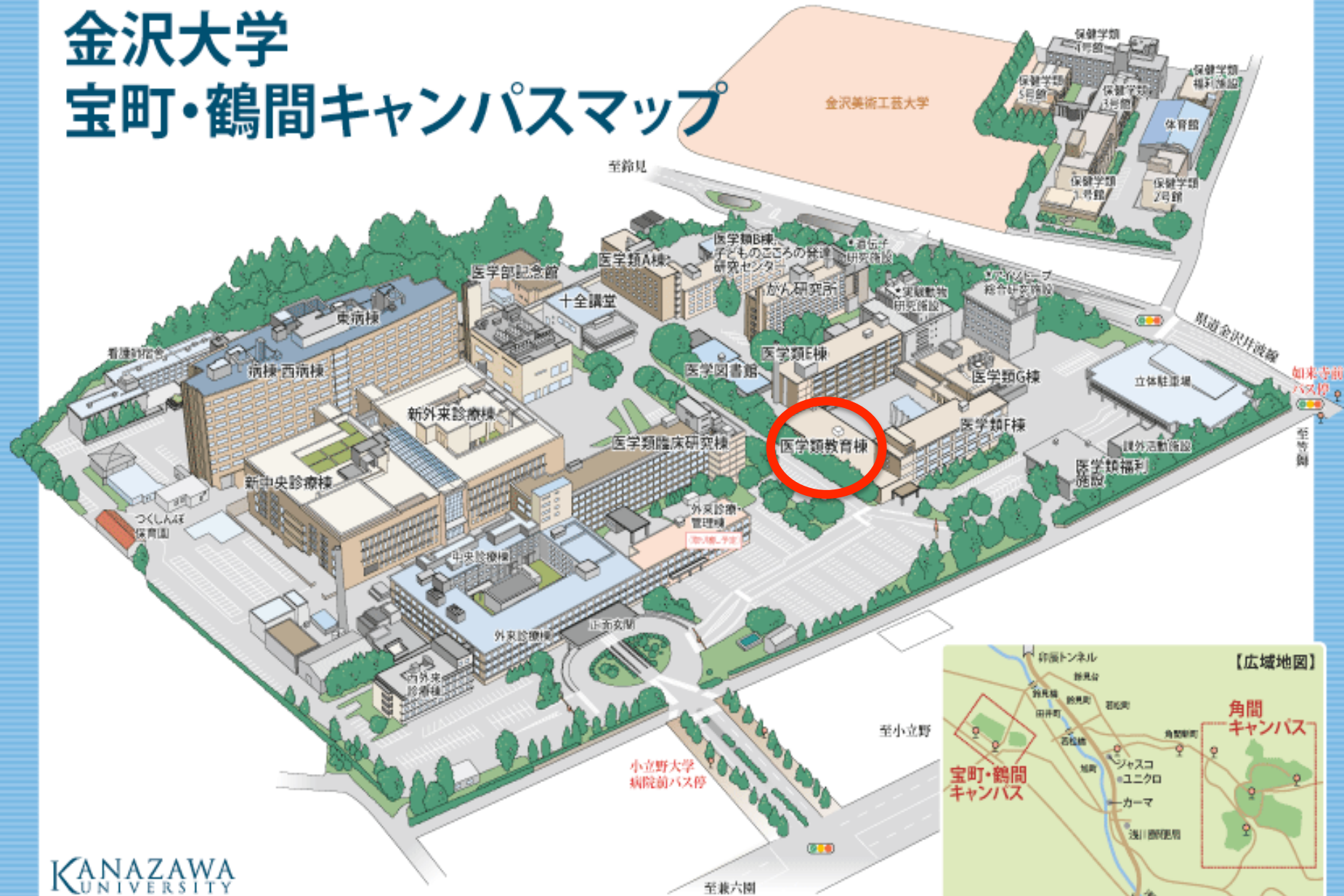
開催場所：金沢大学医学類教育棟 地下大多目的室

日時：平成22年8月28日（土）、8月29日（日）

※優先参加申込後、参加人数枠に空きがあった場合一般参加受付を行います。一般参加受付については、NPO 法人周生期医療支援機構（OPPIC）ホームページ News でお知らせ致します（<http://www.oppic.net/>）。それまでは、申込に関するお問い合わせには一切ご対応できません。



# 金沢大学 宝町・鶴間キャンパスマップ





# ALSO-JAPAN 2010 at Kanazawa University COURSE SCHEDULE

8月28日(土)	8月29日(日)
8:30 AM – 9:00 AM 受付	8:30AM – 9:00 AM A: First Trimester Complications 妊娠初期の合併症
9:00 AM – 9:30 AM F: Labor Dystocia 難産	9:10 AM – 10:10 AM G: Malpresentations 胎位・胎向異常
9:40 AM – 11:00 AM H: Assisted Vaginal Delivery 吸引／鉗子	10:20 AM – 10:50 AM C: Vaginal Bleeding in Late Pregnancy 妊娠後期の性器出血
11:10 AM – 12:30AM E: Intrapartum Fetal Surveillance 分娩時胎児監視と症例	11:00 AM – 12:30AM K: Maternal Resuscitation 妊婦の蘇生
12:30PM – 1:30PM Lunch L: Safety in Maternity Care 妊婦ケアにおける安全性	12:30 PM – 1:30 PM Lunch 会陰縫合(希望者)
1:30 PM – 2:30 PM I: Shoulder Dystocia 肩甲難産	1:30 PM – 2:40 PM B: Medical Complications & OB Cases 内科的合併症と症例
2:40 PM – 4:00 PM J: Post Partum Hemorrhage 産後大出血	2:40 PM – 3:15PM Rest 休憩、試験準備 3:15PM – 5:15PM Megadelivery & Written Examination
4:10–4:40PM D: Preterm Labor and PROM 早産と前期破水	
4:50–5:50PM O: Diagnostic Ultrasound in Labor and Delivery 分娩時の超音波	